



天野小校長室だより 夏休み号 天野小学校



先日、無言清掃をしました。今年度から、掃除の時間に一言もしゃべらずきれいにしようという取り組みをはじめ、2学期からは週に一度程度行う予定です。どこからもしゃべり声がなく、その分、掃除する手がしっかりと動いていて、見る見るうちにきれいにしてくれました。

いよいよ夏休みです。学校の行事が随分と戻ってきた1学期でした。遠足や校外学習にも行くことができました。そして、学習にも落ち着いて取り組めた1学期でした。クラスの話し合い活動では相手の意見を認め合える仲の良さが感じ取れました。

夏休み間近になり急に体調を崩す子どもたちが増え、ご心配をおかけしましたが、1学期を通して、子どもたちが元気に学校生活を過ごし、夏休みを迎えられたのは、平素より地域や保護者の皆さまのご協力のおかげと感謝しております。

さあ、42日間の夏休みです。たっぷり時間があるようですが、楽しい時間はすぐに過ぎてしまいます。子どもたちに聞いてみました。①夏休みに楽しみにしていることは何ですか。②夏休みに何か頑張ろうと思っていることはありますか。全員には聞けませんが、①の質問に返ってきた答えは、帰省や旅行・キャンプ、プール等夏ならではの行事や、ゲームが一杯できることなどでした。また好きな習い事の練習に集中できることというような意見も返ってきました。②の質問には、宿題、勉強を頑張ると答えてくれた子どもたちが多く、意識の高さを感じました。中には、お手伝い、習い事の練習、夏野菜の観察、水泳の上達等子どもたちは様々な自分の目標をこの夏に頑張ろうと思ってくれているようでした。子どもたちの夢膨らむ夏休みになるような予感がします。

42日間の長い休み、日頃できない特別なことにチャレンジしたり、ゆっくり体と心を休めてみたり、十分満たされた心で、「さあ、2学期からまた頑張るぞ。」と9月に、一回り大きくなった子ども達に成長してきてください。

校門アンケートに答えてくれた子どもたち、どうもありがとうございました。

終業式にお話したこと 命を大切に

夏休みと言えば、この音！なんだかわかりますか。【セミの声】

セミの声を聴いたら、夏だなんて思いますよね。一生懸命鳴いています。では、セミの命はどのくらいか知っていますか。4~5年、卵や幼虫の時代を土の中で暮らします。そしてやっと成虫になって地上に出てきた後、一週間。たった一週間の命。だからこそ、「私はここで生きていますよ。」と言わんばかりに一生懸命みんなと鳴きます。人間から見ると、短い命かもしれませんが、輝いています。校長先生はこのセミの音を聴くと、「あ、頑張ってる生きてるな。」と思います。



では、この音はなんでしょう。【クラスの笑い声】
楽しそうな笑い声ですね。みんなの笑い声は、先生たちに生きる力を与えてくれます。そんな素敵な人間ですが、人の寿命はどのくらいか、知っていますか。令和2年の調べでは、平均で、男性は81.64歳、女性は、87.74歳だそうで、日本人は世界でも一番の長寿国なのだそうです。中には、病気や事故で「命」を失ってしまう方もいらっしゃ



いますが、それはとても悲しいことです。みんな長生きできたらいいなと思います。校長先生も100歳まで健康で長生きしたいなと思います。



ではこの音は？【赤ちゃんの笑い声】

いい声ですね。赤ちゃんの笑い声です。明るいですね。楽しくなりますね。赤ちゃんの笑顔が思い浮かびますよね。みんなのお父さん、お母さんも、あなたたちのこの笑い声にどれだけ力をもらってきたか分かりません。どれだけ、勇気をもらってきたか分かりません。

次のこの音はなんでしょう。【心臓の音】



心臓の音です。生きているから、心臓の音が聞こえます。ドクンドクン、心臓が動いています。家に帰ったら、是非、お家の人に心臓の音を聞かせてもらって下さい。「みんな生きているんだな。」と、感じます。この音を聞くと、泣いていた赤ちゃんも泣き止むそうですよ。安心できる音なんじゃないかな。

では最後にこの音は？【胎児の心臓の音】

同じ心臓の音ですが、早くて力強いですね。実は、お腹の中にある赤ちゃんの心臓の音です。もっと詳しく言うと、お腹の赤ちゃんのへその緒を流れている血液の音です。まだお腹の中にいますから姿は見えませんが、一生懸命に生きている「命の音」です。皆さんもお母さんのお腹の中で育っている時このような力強い「命の音」を響かせていました。



あなたたちの命がお腹に宿ったとき、お父さん、お母さんは、どんなにうれしかったことでしょうか。おじいちゃん、おばあちゃんもどんなに喜んだことでしょうか。

校長先生もお腹の中に赤ちゃんを授かったとき、この音を聞かせてもらいました。この音を聞いたとき、この力強い「生きている命」の音に感動しました。

そして、赤ちゃんが生まれてきたとき、抱かせてもらった赤ちゃんがほんのり温かくて、「この子はこんなに小さいけれど、生きている。」と感じました。そして、「生まれてきてくれてありがとう。」って嬉しくて嬉しくて涙が出てきたことが忘れられません。

だからこそ、校長先生は自分の命を大切にしたいです。娘たちにも自分の命を大切にしてほしいです。なぜって？その命は、お父さん、お母さんをいっぱい喜ばせた命だから。お父さん、お母さんからもらった「かけがえのない命」を大切にここまで大きくしてもらった命だからです。

そして、「わたしの(自分の)命」を大切にすると同じように、「お友達の命」も大切にしてほしいのです。

なぜって？それは、自分以外の他の命にも、その誕生を喜んだ人がいっぱいいるからです。

長い夏休みが始まる前、校長先生はいつも思うことがあります。

どうぞ9月1日に、またみんなの元気な顔と出会えますようにと願います。どうぞ車の事故に遭いませんように、どうぞ水の事故にも遭いませんように、命を落とすようなことがありませんように。けがなどもありませんように。病気もありませんように。どうぞ、学校から離れている間も友だちと仲良く遊べますように、友だちとの会話で悲しい思いはしませんようにと願います。みんなが楽しみにしている夏休みを本当に楽しかったと言える夏休みにして下さい。

9月に、また元気な皆さんと会えるのを楽しみにしています。